



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

会 長	小柳智裕	会長エレクト	鈴木洋子	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	高橋政勝	幹 事	北砂明彦		大和中央ビル 301
会報委員会	岸 幸博	苗加真敬	石川達男		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
例 会 場	藤田方己	池澤利男	小倉一道		E-mail : naka-office@ynrc.jp
	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

「ロータリー：変化をもたらす」

RI会長 イアン H.S. ライズリー

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「みんなが主役、一人ひとりが主役」

【本日のプログラム】 4月12日 クラブフォーラム「地区研修・協議会を終えて」 会長、幹事

【次回予告】 4月19日 卓話「米海軍厚木航空施設役割」 ロイド B マック 大佐

【第1895例会】 平成30年4月5日(木)

【司会SAA】 高橋 清 君

【斉唱】 「君が代」「奉仕の理想」

【ソングリーダー】 梅田 秀雄 君

【ゲスト】 梅原 達也 様、小泉 壮登 様(タウンニュース社)

会長の時間 小柳 智裕 会長

スマイルボックスには、「寄付金の原則」があります。即ち、『金を出したい人が、出したい時に、出したい金額だけ出す』そして『出した人、必ずしも尊からず、出さざる人必ずしも卑しからず』。これが「寄付金の原則」であります。したがって、強制的要素の一切ないものをスマイルボックスというのであります。

基本的には、何か嬉しい事があったときに、それを記念して、ニコニコ笑って、なにがしかの浄財を入れるものであって、罰金的要素のないものを言うのであります。したがって、これは一つの信託財産であって、クラブが何かの社会奉仕活動をするためのために、「この善き因縁のお金でその仕事をしてくださいよ」と言う形で、予め「クラブ理事会」に預けておくお金でありますから、クラブの通常会計が赤字になったからと言って、この金をクラブの赤字補填に使うことは出来ないのであります。

この場合は、クラブの会費を値上げするほかありません。何故なら、社会奉仕のためのスマイルボックスをクラブの赤字補填に使える、ロータリアンが社会奉仕財源をピンハネしたことになるからであります。

要するに、お金を出した人の気持を尊重してクラブ理事会がこれを預かる、即ち、基本的には「預かり

金」であって、クラブの財源ではないのであります。

このように、スマイルボックスは、何時入って来るか判らない、いわば不時の収入でありますから、予算を立てることが出来ません。したがって、事業計画も立てられません。したがって、スマイルボックスのお金は、当該会計年度に使ってはならないのであります。スマイルボックスの管理方法は、6月30日までに、そのメた金を次の年度の事業予算科目に載せるのであります。このようにスマイルボックス財源の支出方法だけは、会計年度が1年遅れになってくるのであります。もし、当該会計年度に使うものとして予算を立てると、5月頃になって、スマイルボックス財源が予算額に満たないと、『今年度の予算額(目標額)には未だ大分不足していますので御協力を御願いたします』と言って、例会でテーブルにスマイルボックスを回すようなこととなります。いささかなりとも強制になることがあってはならないのがスマイルボックスなのであります。

日本で、スマイルボックスの慣例が出来たのは、昭和10年のことであります。関東大震災の被災孤児達を東京ロータリーホームと言う孤児院で世話をしていましたが、東京ロータリークラブの人達が、昭和10年に当時オープンした多摩川園という遊園地に孤児達をつれて行ってやろうということになりました。

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 7名(敬称略)
40名	25名	78.13%	77.42%	12名	阿萬、橋本(吉)、石田、板垣、川名、新村、富澤

ところが、さてその金はどうしようかということになりました。クラブの会員達は、お金持であります。クラブ自体には金はありません。そこで、日本橋の羅紗問屋と村伝助商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、あり合わせのボール箱をもって、『あなたの誕生日ですよ』とか『お嬢さんが結婚されたでしょう』とか色々なことを理由に面白く話しながら、例会場を回ったのであります。会員達が皆、笑いながら財布の紐を解いたと言います。当時、大学卒の初任給が60円くらいの時代に600円の金があつたといえますから、流石は東京ロータリークラブであります。これで孤児達を多摩川園に連れて行くことが出来たと言われています。

雰囲気明るくて、大変活気にあふれているクラブほどスマイルが多いものでもあります。今年度も多くのスマイルを頂きました 感謝申し上げます。

幹事報告 北砂 明彦 幹事

- ①3/16付で「本厚木ロータリークラブ」が国際ロータリークラブに加盟認証されました。
- ②藤田重成元会員が4月3日(火)ご逝去されました。96歳でした。

③4/8(日)は2018年地区研修・協議会が開催されます。

委員会報告

【お祝いの方々】

親睦活動委員会	梅田 秀雄 委員長
会員誕生日	藤塚 勝明 君 4月11日
配偶者誕生日	横澤 たづ子 夫人 4月10日
	後藤 久子 夫人 4月11日
結婚記念日	高橋 政勝 君 4月10日
入会記念日	梅田 秀雄 君 4月9日
	阿萬 正巳 君 4月9日

卓話

「クラブ創立40周年記念について④」
40周年実行委員会



スマイルボックス 番 桂柳 委員 本日 ¥9,000 累計 ¥517,309

小柳智裕会長、北砂明彦幹事
いよいよ記念事業、式典と開催日が近づいてまいりました。改めて「みんなが主役、一人ひとりが主役」のもと当日に向けての準備をして参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
鈴木 洋子 君
「クラブ創立40周年記念について」の卓話ですが、やむを得ず早退させて頂きます。
上田 利久 君
創業記念日、結婚記念日ありがとうございます。二人ともに仲良くやっています。

高橋 政勝 君
結婚記念日のお祝いありがとうございます。
藤塚 勝明 君
あと1年で後期高齢者です。誕生日のお祝いありがとうございます。
小野 泰弘 君
創業記念日のお祝いありがとうございます。
梅田 秀雄 君
入会日を祝って頂きありがとうございます。入会30年を越えました。

End Polio Now 「歴史に1ページを刻もう」キャンペーン感謝状

4月8日(日)開催の地区研修・協議会にて2016～17年度ポリオプラスへ1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られました。昨年度大和中では、2,400ドル寄付をいたしました。

